

## 第 40 回神奈川県立座間谷戸山公園 現場研修会報告

—テーマ：湿地環境の維持管理—

今回の研修会は、前回に引き続き湿生生態園の植生管理作業と、かつて谷戸山公園でも生息が確認されていたホトケドジョウのビオトープを再生するための現況調査等を行いました。



稲穂も出始め、夏真っ盛りの谷戸山公園です。



今日1日の説明をして研修開始です。

まずは園内の視察から。



昨年水を抜いて改修された水鳥の池ですが、期待された沈水植物の発生はまだ見られないようです。岸は木柵や石積みで護岸されており、エコトーンの部分が少ないように感じました。



次に、わきみずの谷ですが、水が緑色なのが分かります。周辺の土地利用のせいでしょうか、湧水に窒素やリンが多く含まれ、富栄養化しているようです。



わきみずの谷の湧水池点です。  
少し網を入れてみましたがホトケドジョウは確認できませんでした。



そのかわりといっは何ですが、  
オニヤンマの産卵を見ることができました。



谷戸山公園には他にも湧水があり、それを  
いくつか見てみました。どこも泥が堆積していて  
湧水量は少ないようでしたが、少し掘り込んで  
みれば湧水の増加が期待できそうです。



森の学校で小休止。湧水の状況、ホトケ  
ドジョウのビオトープとしての環境など  
について話し合いました。



途中、アカボシゴマダラがエノキに産卵していました。このチョウは日本では奄美大島周辺で固有に分布する種でしたが、10数年前から関東でも突然見られるようになり、生態系への影響を考えない昆虫マニアによる放虫ではないかと言われています。



昼食をはさみ、午後の作業は湿生生態園の植生管理作業(主にヨシ刈り)です。増えすぎてしまったヨシをコントロールし、多様な湿生植物が見られるようにするために行います。



この作業にノルマがあるわけではありません。  
なので、気になった植物はその都度調べたり、・・・



きれいな花が咲いていたら写真を撮ったりします。  
これはミゾカクシ(アゼムシロ)です。  
もちろん疲れたら休憩してもいいですよ。



だいぶ作業も進みましたね。  
この作業は 2005 年から続けていますが、  
ヨシを抑えることは難しいです。でも、  
これまで見られなかった植物が確認され  
たり、少なかった植物の数が増えたりと、  
確実に効果は表れているようです。



最後にまとめをして研修会は終了です。  
参加された受講生の皆さん、暑い中お疲れ様でした。

来月以降も毎月研修会は開催されますので、いつも参加されている方はもちろん、まだ参加されていない方や久しく参加していない方も、是非ご参加ください。お待ちしております。